



## 七夕祭

### 御旅社七夕祭のご案内

来月の七月六日〜七日の両日にわたって、茶屋町の御旅社にて、七夕祭を斎行致します。七夕は日本古来の天棚機比売（あめのたなばたひめ）の伝説と大陸の牽牛織女（彦星と織姫）の伝説が相まって生まれた信仰といわれ、技芸の上達、恋愛成就を願う日とされ、笹の葉に願い事を記した短冊を結び星に祈りを捧げました。

当宮での七夕祭は一昨年は壁面の崩落の危険性があった事から中止し、昨年は、試みに旧暦七月すなわち八月に「たなばた祭」を斎行致しましたが、やはり関西においては新暦の七夕が定着してしまっただ事もあり、馴染みが薄かった為か、やはり新暦に戻してほしいというご参拝者のお声などもあり、本年、三年ぶりに七月に復す事になりました。

当宮の七夕祭は、京都の北野天満宮で七月七日に行われる「御手洗祭（みたらしさい）」に倣い、氏子崇敬者をはじめ参拝者みなさまの学問書道の上達と心身の清浄を祈願致します。当日は、夕方午後四時から短冊奉納（各色一枚百円）などの行事を執り行ないます。夏の夜に、それぞれのお願いを胸に、どうぞお参り下さい。

名称 七夕祭（たなばたさい）

日時 平成二十九年 七月六日〜七日

午後四時〜午後十時まで

場所 大阪市北区茶屋町十二番五号

網敷天神社 御旅社 境内

お問い合わせ 網敷天神社 御旅社まで

### 歯神祭のご案内

名称 歯神社例祭（通称 歯ブラシ感謝祭）  
日時 平成廿九年六月四日（日）午前十一時  
場所 大阪市北区角田町二番八号 歯神社  
（ねぎ焼きやまもと梅田エズト店 裏側）  
備考 歯ブラシ授与は先着百名迄。  
お問い合わせ 網敷天神社 御旅社まで

### コーヒーと天神さま

今では日本の飲料文化に根付いたともいえるコーヒーですが、この日本における記録をたどりますと、今から二百二十年前の寛政九年（一七九七）六月十九日に、福岡の太宰府天満宮にコーヒーが奉献された記録が『延寿王院鑑察日記』に残っており、これが長崎の出島以外でコーヒーが出された最古の記録とも言われています。

コーヒーそのものは、蘭学者などの間では比較的早い段階で知られており、出島や、そこに通う遊女の間では既に飲まれていたようですが、出島以外で日本人の目に触れたのはこの太宰府天満宮に奉献されたものが最初と考えられています。その記録によると、

六月十九日己ノ刻快晴の日に、長崎の井手要右衛門という人が参り、居間において対面し、左の通り献上した。

- 一、唐本一部二套
- 一、白砂糖
- 一、器
- 一、紅毛コビイ包

とあり、コーヒー豆だけではなく、器やお砂糖も一緒に奉献された事が分かります。

勉学の大敵である睡魔との戦いに欠かせないコーヒーの、日本における最古の記録が、学問の神様のお宮での事であったというのは、やはり何かしらの縁のようなものを感じずにはいられません。

### 神社携帯サイトのQRコード

ドコモ、ソフトバンク、  
au、モバイルPC 対応



編著 網敷天神社 禰宜（神主）

白江 秀 知

